

# 令和5年度行政評価結果 (令和4年度実績分)

日出町政策企画課

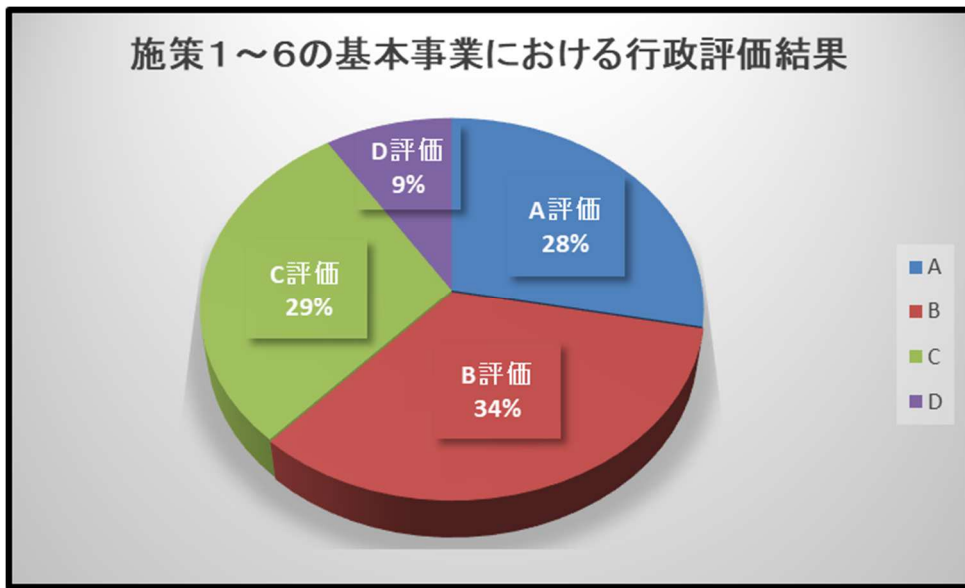
【 令和5年度行政評価結果（基本事業） 】

1 評価対象

基本事業89事業（施策7を除く全部）

2 評価結果

A評価（R4目標値達成率100%）	25事業
B評価（R4目標値進捗率90%以上100%未満）	30事業
C評価（R4目標値進捗率80%以上90%未満）	26事業
D評価（R4目標値進捗率80%未満）	8事業



3 D評価の基本事業

- 政策① - 施策1 - 基本事業5 『 ころの健康づくりの推進 』（所管課：健康増進課）  
 [指標] ゲートキーパー研修受講者数、ころの相談会利用者数
- 政策① - 施策2 - 基本事業3 『 災害時の支援体制 』（所管課：介護福祉課）  
 [指標] 避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合
- 政策② - 施策1 - 基本事業1 『 確かな学力の向上 』（所管課：学校教育課）  
 [指標] 国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合
- 政策② - 施策1 - 基本事業6 『 幼児教育の充実 』（所管課：教育総務課）  
 [指標] 小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直し回数、  
 1学級15人以上の町立幼稚園の割合
- 政策② - 施策4 - 基本事業1 『 文化・芸術の振興と活用 』（所管課：社会教育課）  
 [指標] 産業文化まつり参加団体数、文化協会会員数、伝統芸能・文化の継承者数
- 政策③ - 施策2 - 基本事業3 『 交通安全施設等の整備 』（所管課：都市建設課）  
 [指標] 危険個所に対する安全対策実施割合
- 政策④ - 施策5 - 基本事業1 『 企業誘致の推進 』（所管課：まちづくり推進課）  
 [指標] 企業訪問件数、町HPアクセス数、大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数
- 政策⑤ - 施策1 - 基本事業2 『 ごみの減量とリサイクルの推進 』（所管課：住民生活課）  
 [指標] 資源化率、搬入ごみ展開検査実施回数、広報等による啓発回数

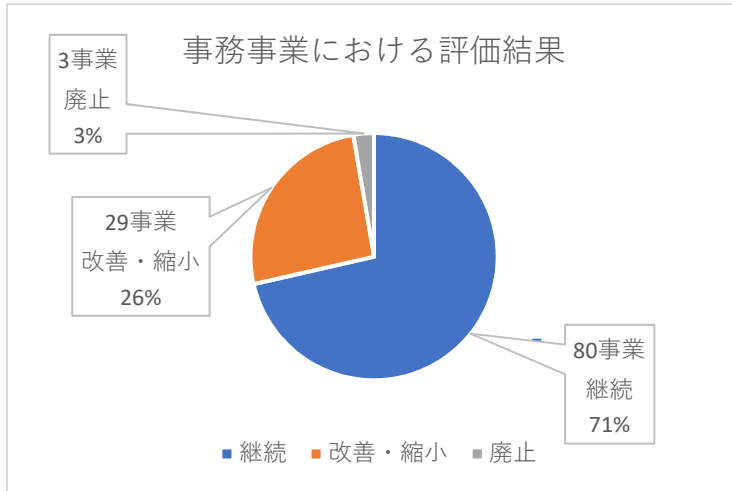
## 【 令和5年度行政評価結果（事務事業） 】

### 1 評価対象

事務事業 112事業

### 2 評価結果

継続（次年度も継続実施）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80事業  
改善・縮小（次年度の予算の縮小も含めて事業内容を見直し実施）・・・ 29事業  
廃止（本年度で事業を打ち切り）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3事業



### 3 「廃止」評価の事務事業

- ・後継牛緊急確保特別対策事業（所管課：農林水産課）  
評価理由 令和4年度を以て県補助事業が終了したため  
令和4年度決算額 690千円
- ・新規就農者負担軽減対策事業（所管課：農林水産課）  
評価理由 令和4・5年度ともに予算が計上されておらず、今後も事業実施の予定がないため  
（重複する他の新規就農支援事業があるため）  
令和4年度決算額 0千円
- ・地域伝統芸能保存継承事業（所管課：社会教育課）  
評価理由 令和5年度を以て事業終了の計画のため  
令和4年度決算額 1,346千円

### 4 指摘の多かった事項

- ・町民（事業者）一般を対象とした補助事業などが町ホームページに掲載されていない
- ・制度について計画的な広報ができていない
- ・例年、関係団体に多額の補助金を交付しているのに、専用の補助金交付要綱が制定されていない
- ・設定指標が毎年数値として把握できるものになっていない（実績が5年に1度の〇〇統計調査でしか分からない等）

など

## 1-1 健康づくりの推進

担当課:健康増進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
お達者年齢	男性 80.6 歳 女性 84.9 歳	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳	男性 81.0 歳 女性 85.4 歳
自分が「とても健康」「まあまあ健康」だと感じている町民の割合	63.3%	70.0%	80.0%

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく7つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。また、本施策の成果指標「とても・まあまあ健康だと感じている町民の割合」は、60%を超え、年度目標値を達成している。今後も、各基本事業の着実かつ継続実施により、本施策は順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-1-1 地域における健康づくりや食育の推進 **重点 P**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数(年間)	304 人	330 人	340 人
地域や職域における普及啓発回数(年間)	16 回	28 回	30 回
20歳の時の体重から10キロ以上増加している人の割合(削減目標)	35.9%	33.5%	33.0%

#### 【評価コメント】

「地域での健康づくり活動を行うボランティア養成数」の目標値達成率は98%で、「20歳の体重から10キロ以上増加している人の割合」の目標値達成率は96%と概ね順調である。が、「地域や職域における普及啓発」は、目標値達成率61%と低水準であり、R3 から R4 で回数が激減している。普及啓発回数の各年度の目標値を課内で再確認、共有し、年間スケジュールを作成するなど計画的に取り組む必要がある。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
健康増進事業	継続

食育推進事業	継続
健康づくり推進協議会事業(R5 から健康増進事業に統合)	継続
健康運動普及推進員育成支援事業(R5 から健康増進事業に統合)	継続

### 基本事業 1-1-2 食育の連携強化

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
連携した関係部署や団体数(年間)	22 力所	49 力所	54 力所
食に関する普及啓発活動数(年間)	69 回	50 回以上	50 回以上

#### 【評価コメント】

「食に関する普及啓発の年間活動数」は、目標を達成しており、計画的に取り組んでいるが、「連携した関係部署や団体数」の目標値達成率は54%と低水準であり、R3 から R4 で減少傾向にある。R5 からの新規事業「やさイト事業」において、健康づくり活動を行う団体に加え、農林水産課、生産者、町内飲食店等多くの関係部署・団体と連携することが想定されている。また、今後は、教育委員会との連携も検討して頂きたい。

### 基本事業 1-1-3 健診(検診)受診率の向上

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
健診受診率向上施策の取り組み回数(年間)	24 回	43 回	46 回
過去1年間に健診や人間ドックを受けたことのある町民の割合	81.8%	79.5%	80.0%
特定健診受診率(国保)	37.6%	44.0%	45.0%

#### 【評価コメント】

「過去1年間に健診や人間ドックを受けた町民の割合」は、R7 最終目標値をも超え、目標値を達成した。一方で、「健診受診率向上施策の取り組みの回数」が R3 から R4 で減少しており、目標値達成率も64%と低水準である。今後は、各年度の取組目標値を課内で再確認、共有し、勧奨通知の回数や健康診断受診向上キャンペーンの時期など年間スケジュールを作成するなど計画的に取り組むことで、「特定健診受診率」の向上に取り組んで頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 (R5 から「がん検診推進事業」)	継続

## 基本事業 1-1-4 生活習慣病予防対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
生活習慣病予防教室開催数及び参加者数	16 人/回	45 人/回	50 人/回
特定保健指導実施率(国保)	52.3%	53.4%	54.0%
地域における健康相談実施数(年間)	5 回	20 回	21 回

### 【評価コメント】

「生活習慣病予防教室参加者数」の目標値達成率 45%、「地域における健康相談実施数」の目標値達成率 29%と低水準である。生活習慣予防教室については、1回あたりの参加者数を増やすためにも、従来の教室形式のみならず、講演会等も含めて開催形式も検討する必要がある。地域における健康相談については、各地域からのニーズも低下し、主管課としても、力を入れる事業でないと考えているのであれば、事業廃止も検討するべきである。

## 基本事業 1-1-5 こころの健康づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
ゲートキーパー研修の受講者数(年間)	369 人	600 人	600 人
こころの相談会の利用者数(年間)	37 人	70 人	75 人

### 【評価コメント】

「ゲートキーパー研修受講者数」の目標値達成率は61%、「こころの相談会利用者数」の目標値達成率は56%と低水準である。ゲートキーパー研修については、教育委員会など関係機関等と十分連携して、各研修内容のひとつの議題として取扱う等により、ゲートキーパー研修受講者数を増やすよう取組みを工夫する必要がある。また、「こころの相談会」の開催あたっては、町公式 SNS などを活用し、十分広報し、併せて、啓発活動にも取組む必要がある。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自殺予防対策強化事業	継続

## 基本事業 1-1-6 医療機関との連携強化

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「かかりつけ医」のいる町民の割合	66.3%	79.0%	80.0%
日出町健康課題連携会議の開催数(年間)	0回	1回以上	1回以上

### 【評価コメント】

「かかりつけ医のいる町民の割合」の目標値達成率は88%で目標未達成ではあるが、R3 から R4 で上昇傾向にある。引き続き、かかりつけ医の意義等健康教育の啓発に取り組んで頂きたい。「日出町健康課題連携会議」については、未だ未開催である。本会議が重要かつ必要な会議であるならば、早急に設置及び開催に向けて具体的に取り組むべきである。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	構成される事務事業
高齢者予防接種事業	継続
骨髄移植ドナー等支援事業	継続
献血推進事業(R5 から「保健対策推進事業」に統合)	継続

## 基本事業 1-1-7 新たな健康リスクへの対応

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町報、回覧、ホームページ等による町民への周知回数	17回	3回	3回
健康教室の開催回数(年間)	2回	5回	6回

### 【評価コメント】

「町報等による町民への周知回数」は、目標値を大幅に超えて目標達成している。一方で、「健康教室の開催回数」の目標値達成率は40%と低水準である。今後、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した場合、本事業の取扱いを検討する必要がある。

## 1-2 地域福祉の推進

担当課:介護福祉課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合	48.9%	55.0%	70.0%

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく3つの基本事業の総合的な進捗状況は、やや遅れている。基本事業において、最も進捗状況が遅れている避難行動要支援者個別支援計画の策定については、令和5年度から豊岡地区を皮切りに全地区の対象者の個別支援計画の策定が随時完了していく見込みである。また、本施策の成果指標「地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合」は、若干の減少傾向にあるものの、今後は、基本事業を着実に取組むことにより、本施策の概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-2-1 地域福祉の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
ここ1年以内に地域活動やボランティア活動に「参加したことがある」と回答した町民の割合	34.3%	65.0%	70.0%
「広報ひじ」や「社協だより」での地域福祉啓発記事の掲載件数(年間)	広報ひじ 2回 社協だより 4回	広報ひじ 4回 社協だより 4回	広報ひじ 4回 社協だより 4回

#### 【評価コメント】

「ここ1年以内に地域活動やボランティア活動に参加したことがある町民の割合」は、34%(目標値50%)と低水準である。「広報ひじ」や「社協だより」にボランティアの活動報告・紹介など地域福祉啓発記事を計画的に掲載するとともに、町HPや町公式SNSなども活用し、地域福祉の推進啓発の取組みを強化する必要がある。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
社会福祉協議会補助事業	改善・縮小



### 基本事業1-2-2 支え合いの仕組みづくり

【指標の達成状況】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
包括的相談支援連携会議の開催回数(年間)	1回	2回	2回
民生委員・児童委員の研修受講率(%)	90%	100%	100%
まちづくり協議会(地域運営自主組織)及び類似組織の設立数	1団体	4団体	6団体
住民見守りネットワーク主催の連絡会・研修等の開催回数(年間)	0回	2回	2回
生活困窮者自立支援制度の周知回数(年間)	1回	4回	4回

#### 【評価コメント】

「包括的相談支援連携会議」は、計画的に開催されている。「民生委員・児童委員の研修受講率」は、90%と概ね順調ではあるが、受講率100%を目指す場合、多様な受講方法等を検討する必要がある。「まちづくり協議会等」の設立については、まちづくり推進課と十分連携し、協働して取り組むことが必要である。「住民見守りネットワーク主催の連絡会等」はR3、R4と未開催である。R5は年間計画を立て計画的に開催して頂きたい。「生活困窮者自立支援制度の周知」の目標値達成率は25%で低水準である。年間計画を立て、町公式SNSも活用し、計画的に周知を実施して頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
老人福祉費	継続
在宅老人福祉事業(老人クラブ活動等社会活動促進事業)	改善・縮小
生活困窮者支援事業(R5 から包括的相談体制整備事業)	改善・縮小

### 基本事業1-2-3 災害時の支援体制

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合 ※R3.5 に法改正	0%	90%	100%

#### 【評価コメント】

「避難行動要支援者個別支援計画を策定した要支援者の割合」は、R3災害対策基本法の改正に伴い、対象者を見直し、新たに個別避難計画の策定に取り組み始めたため、現在の進捗状況は0%である。今後は、R7最終目標値100%に向けて、迅速かつ計画的に各地区において個別支援計画の策定に取り組む必要がある。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
災害時要援護者管理システム事業	継続
地域福祉等推進特別支援事業(R5 から重層的支援体制整備事業)	継続

## 1-3 高齢者福祉の推進

担当課:介護福祉課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
要介護認定を受けていない65歳以上75歳未満の割合	97.0%	96.5%	96.5%
要介護認定を受けていない75歳以上の割合	74.0%	70.9%	70.9%
住民主体の地域活動団体数(累計)	56 団体	66 団体	70 団体

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く5つの基本事業の総合的な進捗状況は、やや遅れているが、本施策の成果指標「要介護認定を受けていない65歳以上の割合」は、目標値を達成しており、進捗状況は順調である。分散化して増えてしまった事務事業を整理し、介護予防の更なる推進に取り組むことにより、今後も本施策の順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-3-1 介護予防・重度化防止の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
住民主体の地域活動団体数(累計)	56 団体	66 団体	70 団体
地域ケア会議開催回数(年間)	18 回	19 回	19 回
ほほえみ広場の参加者数(年間)	568 人	835 人	900 人
要介護認定率	15.53%	16.93%	16.90%
要介護等状態区分が維持または改善した者の割合	61.82%	67.39%	67.50%

#### 【評価コメント】

「住民主体の地域活動団体数」の目標値達成率は96%、「地域ケア会議開催回数」の目標値達成率は94%、「要介護認定率」の目標値達成率は109%、「要介護等状態区分が維持又は改善した者の割合」の目標値達成率は92%

と高水準であり、順調である。社協に委託している「ほほえみ広場の参加者数」の目標値達成率が80%であるが、R3 から R4 で参加者数は倍増しており、R5は更なる参加者の増加が見込まれている。

### 基本事業1-3-2 介護保険制度の持続

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
介護ボランティア養成者数(年間)	6人	28人	25人
エプロン隊の活動回数(年間)	101回	282回	360回
要介護認定の適正化にかかる調査員検討会開催回数(年間)	6回	6回	6回
ケアプランの点検事業所数(年間)	1事業所	6事業所	7事業所
実地指導を行った介護事業所数(年間)	5事業所	4事業所	5事業所

#### 【評価コメント】

「介護ボランティア養成者数」の目標値達成率は26%、「エプロン隊の活動回数」の目標値達成率は79%といずれも目標未達成である。今後は、養成講座の募集や制度の周知等、広報活動を強化し、目標を達成して頂きたい。「要介護認定の適正化に係る調査員検討会開催回数」及び「実地指導を行った介護事業所数」は、R7最終目標値を達成しており、順調である。一方で、「ケアプランの点検事業所数」の目標値達成率は25%と低水準である。常態的なマンパワー不足ではあるものの、不適切なケアマネジメント、介護報酬請求の是正のためにも計画的に取り組を進めて頂きたい。

### 基本事業1-3-3 地域生活支援体制の整備

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地域包括支援センターでの総合相談件数(年間)	483件	248件	250件
緊急通報装置設置世帯数(累計)	215世帯	270世帯	270世帯

#### 【評価コメント】

「地域包括支援センターへの相談件数」は目標を達成しているが、R3 から R4 で減少傾向にある。地域包括支援センターの周知を強化するとともに、相談に対しては引き続き適切に対応して頂きたい。「緊急通報装置設置世帯数」の目標値達成率は80%を下回り、R3 から下降傾向にあるが、この原因のひとつに固定電話の減少があるこ

とを分析し、今後は、スマホに設置したり、室内センターに置き換えたりと、住民ニーズに合わせ、事業メニューを追加する取組みを検討している。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
緊急通報装置設置事業	継続

**基本事業1-3-4** 生きがいづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	35 件	96 件	120 件
ボランティア講師登録者数(累計)	12 人	18 人	20 人

**【評価コメント】**

「企業訪問件数」の目標値達成率は80%に到達していない。介護福祉課における本事業の趣旨は、高齢者の雇用促進であるため、まちづくり推進課と十分情報共有し、協働して取組む必要がある。また、「ボランティア講師登録者数」の目標値達成率は85%で、R3 からR4で±0である。今後、日出町社会福祉協議会と充分連携して、ボランティア講師の養成、登録に向けて、協働して取組む必要がある。

**基本事業1-3-5** 認知症高齢者支援対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	1,404 人	1,480 人	1,500 人
認知症カフェ参加者数(年間)	116 人	280 人	300 人
認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数(累計)	40 機関	44 機関	45 機関

**【評価コメント】**

「認知症サポーター養成講座受講者数」は目標を達成しており、順調である。「認知症カフェ参加者数」の目標値達成率は46%と低水準であることに対して、R5ではR4に参加がなかった川崎地区での開催場所、内容を見直し、参加者を増加する計画を立てている。「認知症高齢者等SOSネットワーク協力事業者数」の目標値達成率は93%と概ね順調であるが、R3からR4で±0である。今後は、協力事業者の新規登録を目的に、企業勧奨と制度周知が必要がある。

## 1-4 障がい者福祉の推進

担当課:介護福祉課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ち安心して生活できると感じる町民の割合	53.3%	67.0%	70.0%
就労支援サービス利用から一般就労への移行者数	4人	8人	10人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の総合的な進捗状況は、コロナ禍の影響により、事業実施ができず、やや遅れている状況にあることは否めない。基本事業の進捗の遅れ、また、事業の未実施は、本施策の進捗状況に直結し、成果指標「障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ち安心して生活できると感じる町民の割合」の低下を引き起こしていると言わざるを得ない。今後は、基本事業の着実な実施により、本施策の成果指標の目標達成に向けて、確実に取組みを進める必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業1-4-1 地域生活支援の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修受講者数(年間)	0人	25人	30人
自立支援協議会地域生活支援部会開催回数(年間)	0回	5回	5回
障害福祉サービス新規利用者数(年間)	59人	49人	50人

#### 【評価コメント】

「日出町障害者等基幹相談支援センター主催の研修」は、R3、R4 と開催されていない。委託内容を確認し、委託料の精算により委託料の一部返還を求めるべきである。また、当然に委託元として、委託事業の進捗管理をするべきである。「自立支援協議会地域生活支援部会」は、R3 に開催されていたが、R4 で開催0回となっている。介護福祉課として、年間事業計画を再度確認し、着実に事業実施して頂きたい。「障害福祉サービス新規利用者数」は、目標を達成している。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	継続
障害児通所支援利用促進事業	継続
軽度・中度聴覚障がい児支援事業	継続
在宅高齢者住宅改造助成事業	継続
重度身体障がい者タクシー料金助成事業	継続

## 基本事業1-4-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
障がい者への差別解消に向けた研修会等の開催回数(年間)	0回	2回	2回
外出支援に係る障害福祉サービス等利用者数(年間)	26人	24人	25人
就労支援サービス利用者数(累計)	148人	128人	130人
自立支援協議会就労支援部会開催回数(年間)	0回	4回	4回

### 【指評価コメント】

「外出支援に係る障がい福祉サービス等利用者数」及び「就労支援サービス利用者数」は、目標を達成し、順調である。一方、「障がい者への差別解消に向けた研修会等」は、R3、R4 と開催されていない。介護福祉課として、年間事業計画を再度確認し、着実に事業実施して頂きたい。「自立支援協議会就労支援部会」も R4 未開催であるが、本部会の当初の設置目的を果たした感があるという介護福祉課の認識であれば、部会の廃止も含め、本部会のあり方を検討する必要がある。

## 1-5 子育て支援の充実

担当課:介護福祉課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
子育てしやすい環境が整っていると思う町民の割合	67.7%	83.0%	85.0%
出生数	163人	240人	250人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く5つの基本事業の総合的な進捗状況は概ね順調であるが、本施策の成果指標「子育てしやすい環境が整っていると思う町民の割合」は、低下傾向にあり、早期の課題把握と課題解決が必要である。子育て政策の推進は、町の重点政策の1つでもあり、安心して子育てできる環境の確保は、喫緊の課題でもある。今後は、子育て世帯のニーズを的確に把握し、新たな事務事業の構築も含め、本施策の成果指標の目標達成に向けて、取組みを強化する必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

**基本事業1-5-1** 子どもを産み育てやすい環境づくり

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
子育て世代包括支援センター年間相談件数	2,019件	2,420件	2,500件
母子手帳アプリ「おひさまにここ」登録者数(累計)	524人	840人	1,000人
公園の施設に満足している町民の割合	61.0%	68.0%	70.0%

#### 【評価コメント】

「子育て世代包括支援センター年間相談件数」の目標値達成率は87%で、R3からR4で減少傾向にあるため、子育て世代包括支援センターについて、町報や町HP、町公式SNSなどを活用し、広く周知に取組む必要がある。「母子手帳アプリ登録者数」の目標値達成率は、目標を達成しており、順調である。今後は、このアプリを最大限に利用し、サービスの向上と業務改善に繋げて頂きたい。「公園の施設に満足している町民の割合」の目標値達成率は92%と高水準である。都市建設課と十分連携、協働し、町民が満足する公園づくりに取組んで頂きたい。



基本事業1-5-2 母子保健・福祉の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
乳幼児健診受診率	4ヵ月 94.2% 1歳6ヵ月 99.2% 3歳児 99.7%	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 99.5%	4ヵ月 100% 1歳6ヵ月 100% 3歳児 100%
3歳児健診でのむし歯保有率	14.5%	18.0%	16.0%
乳児家庭全戸訪問実施率	98.3%	100%	100%

【評価コメント】

「乳幼児健診受診率」の目標値達成率は94～100%で、高水準である。勧奨通知や個別勧奨等の取組みが確実に成果に繋がっている。引き続き取組みを継続して頂きたい。「3歳児健診でのむし歯保有率」は、R7 最終目標値を達成しており、順調である。「乳児家庭全戸訪問実施率」の目標値達成率は98%であり、高水準である。今後、乳児家庭全戸訪問を有効に活用し、子育て世代の悩みの解消や必要なサービスの情報提供等に取組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
子ども医療費助成事業	継続
不妊治療費助成事業	継続
任意予防接種事業	継続
家事育児支援事業	継続
利用者支援事業	継続
産後ケア事業	継続

基本事業1-5-3 保育サービスの充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
保育園・認定こども園等の待機児童数	9人	0人	0人
保育所等整備施設数(累計)	1箇所	3箇所	3箇所
病児・病後児保育利用可能施設(累計)	3箇所	3箇所	3箇所
ファミリーサポートセンター事業の会員総数(累計)	632人	440人	460人

**【評価コメント】**

「保育所等整備施設数」、「病児・病後児保育利用可能施設」、「ファミリーサポートセンター事業の会員総数」の3指標は、いずれも目標を達成している。が、ファミサポについては、おまかせ会員とおねがい会員の比率が1:9であり、事業の有効性を考え、委託先の日出町社協と十分連携し、おまかせ会員を増やす取り組みが必要である。「認定こども園等の待機児童数」は、目標未達成で、待機児童の解消に至っていない。今後は、有効性を十分精査のうえ、施設整備を実施するとともに、既存施設の利活用も含め、待機児童解消の取り組みを強化する必要がある。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
地域子育て支援事業	改善・縮小

**基本事業1-5-4** 放課後の子どもの居場所づくり **重プ②**

**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
放課後子ども教室実施数(累計)	4 箇所	4 箇所	5 箇所
放課後児童クラブの支援単位数(累計)	11 単位	12 単位	12 単位

**【評価コメント】**

「放課後子ども教室実施数」は、目標を達成しており、順調である。所管課の社会教育課と十分連携、協働して、放課後子ども教室の内容の充実に取り組んで頂きたい。「放課後児童クラブの支援単位数」の目標値達成率は91%で、R7最終目標値達成まであと1単位と順調である。が、放課後児童クラブについては、4年生以上が入会できない現状があるため、今後は、既存施設の利活用や長期休暇のみの利用等運用改善等にも取り組んで頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
放課後児童健全育成事業	改善・縮小
児童館運営事業	改善・縮小
子どもの居場所づくり推進事業	改善・縮小

**基本事業1-5-5** 子どもの人権の尊重

**【行政評価会議による評価】** **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
要保護児童対策地域協議会の開催回数(年間)	12 回	12 回	12 回
児童虐待の相談通告先を「知っている」と答えた町民の割合	47.3%	45.0%	50.0%

### 【評価コメント】

「要保護児童対策地域協議会の開催回数」及び「児童虐待の相談通告先を知っている町民の割合」の2指標は、いずれも目標を達成しており、順調である。児童虐待の相談通告先の認知については、従来のポスター、チラシ、啓発グッズを配布するなどの取組みを継続実施するとともに、町 HP や町公式 SNS 等を活用し、さらなる周知に取り組んで頂きたい。

## 2-1 学校・園教育の充実

担当課:教育総務課、学校教育課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合		63.6%	90.0%	90.0%
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	74.3%	79.8%	80.0%
	中学校	79.5%	76.8%	77.0%
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	76.1%	81.0%	82.0%
	小学校女子	83.8%	84.5%	85.0%
	中学校男子	65.6%	78.0%	80.0%
	中学校女子	75.9%	86.5%	87.0%

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く6つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。一方、本施策の成果指標「自分にはよいところがあると回答した子どもの割合」及び「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」は、各年度の目標値を概ね達成しているものの、もう1つの成果指標「国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」が前年度に比べ、大幅に低下したことは、懸念事項である。今後は、教職員の教育力の更なる向上に努め、確かな学力の向上を最優先事項とし、本施策に紐付く基本事業を着実に実施していく必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-1-1 確かな学力の向上 **優先**

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合	63.6%	90.0%	90.0%

#### 【評価コメント】

「国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合」は、目標達成率70%であり、R3 から R4 でおよそ 26 ポイントの大幅な下落である。本指標は、施策の成果指標のひとつでもあるため、早急な分析と各教員の授業力の向上などの取組み強化が必要である。

## 基本事業 2-1-2 豊かな人間性の育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合	小学校	74.3%	79.8%	80.0%
	中学校	79.5%	76.8%	77.0%

### 【評価コメント】

「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合は、小学生に係る目標達成率93%、中学生に係る目標達成率104%と高水準である。R3からR4で、中学生は自己肯定感が上昇しているが、小学生の自己肯定感が下降している。本指標は、施策の成果指標のひとつでもあるため、分析を進め、小学生の自己肯定感の向上に取り組んで頂きたい。

## 基本事業 2-1-3 健康・体力づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合(総合評価:A~E)	小学校男子	76.1%	81.0%	82.2%
	小学校女子	83.8%	84.5%	85.0%
	中学校男子	65.6%	78.0%	80.0%
	中学校女子	75.9%	86.5%	87.0%

### 【評価コメント】

「新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合」は、小学校女子で目標値を達成しているものの、小学校男子の目標達成率95%、中学校男子の目標達成率86%、中学校女子の目標達成率89%と目標達成には至っていない。小学生の体力評価に比べると、中学生の体力評価が低いことが懸念される。本指標は、施策の成果指標のひとつでもあるため、体育専科教員を充分活用するなどし、特に、中学生の体力向上に取り組んで頂きたい。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
各種競技九州、全国大会出場費補助事業	改善・縮小
部活動活性化推進事業	改善・縮小
フッ化物洗口事業	継続

#### 基本事業 2-1-4 グローバル人材の育成

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
外国語指導助手(ALT)による授業を楽しいと答えた児童の割合	95.0%	93.0%	94.0%
教員が1週間に PC 等の情報機器を活用する日数	4日	4日	5日

#### 【評価コメント】

「外国語指導助手による授業を楽しいと答えた児童の割合」と「教員が1週間に PC 等の情報機器を活用する日数」は、両指標とも目標値を達成しており、取組みは順調である。但し、英語を好きな中学2年生の割合が76%と決して高いものではない。今後、中学生が英語を好きになるように、工夫した授業に取り組んで頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校外国語活動推進事業	改善・縮小
小学校外国語活動推進事業	継続

#### 基本事業 2-1-5 特別支援教育の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「個別の指導計画」の作成率	100%	100%	100%

#### 【評価コメント】

支援や配慮が必要な児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率は100%であり、目標値を達成している。また、作成後も適時、児童生徒のニーズに合ったものに修正を行っており、きめ細やかな指導が行われていることがわかる。

#### 基本事業 2-1-6 幼児教育の充実

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数	2.2回	3.8回	年4回
1学級15人以上の町立幼稚園の割合	40.0%	80.0%	100%

### 【評価コメント】

「小学校教育とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直し回数」の目標値達成率は68%で、R3 と R4 の実績値が 2.2 の同数値となっている。本指標の各年度目標値を再度、園及び教職員に周知、共有し、計画的に取り組んで頂きたい。「1学級15人以上の町立幼稚園の割合」の目標値達成率は66%で、5歳児の入園率は、横ばい、もしくは、減少傾向にある。町立幼稚園の可能性は大であり、町内の子育て支援に及ぼす影響力もまた大である。今後は、町立幼稚園のあり方、施設改修など検討を重ね、町民に望まれるより魅力ある幼稚園運営と幼児教育の充実に取り組んで頂きたい。

## 2-2 教育環境の充実

担当課:教育総務課、学校教育課、学校給食センター

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	3.1%	2.0%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	88.0%	90.0%	90.0%

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く5つの基本事業の総合的な進捗状況は順調である。一方で、本施策の成果指標「いじめ事案に対する解消率」は88%であり、目標値達成率は97%超えであるものの、100%の解消を目指して取組みを強化する必要がある。また、もう1つの成果指標「不登校児童生徒の出現率」が前年度に比べ、上昇していることは、懸念事項である。今後は、いじめの100%解消と不登校児童生徒に関する問題把握と問題解決に努め、子どもの学びの保障を最優先事項とし、本施策に紐付く基本事業を着実に実施していく必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-2-1 子どもの学びの保障 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
不登校児童生徒の出現率	3.1%	2.0%	2.0%
いじめ事案に対する解消率	88.0%	90.0%	90.0%

#### 【評価コメント】

「いじめ事案に対する解消率」は、目標達成率97%であり、R3 から R4 で15ポイント向上し、大きく改善された。一方で「不登校児童生徒の出現率」は、目標達成率64%であり、R3 から R4 で不登校児童生徒が増えている。この2つの指標は、本施策の成果指標であるため、更なる取組みの強化が必要である。R5 より町内全校でいじめ・不登校の未然防止を目的とした「心の居場所づくり」を目指して取組む「人間関係作りプログラム」に大きく期待する。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
日出町奨学金支給事業	継続
小学校就学用品等支援事業	継続
中学校就学用品等支援事業	継続



スクールソーシャルワーカー活用事業	継続
フレンドリー広場事業(教育委員会)	継続

### 基本事業 2-2-2 時代の変化に対応した教育環境の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
ICT 支援員の人数	2 人	2 人	2 人

【評価コメント】

「ICT支援員の人数」は、目標を達成している。今後も、ICT 支援員を継続して2名配置していくには、当然に予算確保が必要となる。費用対効果等も検証したうえで、2名の ICT 支援員を有効活用して頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
教育 ICT 環境整備事業	継続

### 基本事業 2-2-3 教職員の働き方改革の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
教職員の1か月の平均超過勤務時間 (削減目標)	29 時間	30 時間	30 時間

【評価コメント】

「教職員の1か月の平均超過勤務時間」は、目標値30H を1H下回り、目標を達成している。現在、小・中学校スクールサポートスタッフ活用事業が教職員の負担軽減策のひとつとなっているが、県からの補助がなくなった場合、本事業も縮小・廃止となることを想定し、教職員の負担軽減の新たな取組みを早期に検討する必要がある。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中学校スクールサポートスタッフ活用事業	改善・縮小
小学校スクールサポートスタッフ活用事業	改善・縮小
部活動指導員活用事業	継続

## 基本事業 2-2-4 学校給食の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
一日当たりの平均残菜量(削減目標)	36.0 kg	40.1 kg	39.0 kg
町内産野菜の使用率	25.6%	27.1%	27.6 kg

### 【評価コメント】

「一日当たりの平均残菜量」は、目標を達成しており、順調である。給食の質の向上や栄養士の食に関する指導の工夫等の取組みが成果に繋がっている。給食の HP アップ等も含め、現取組みを継続実施して頂きたい。「町内産野菜の使用率」の目標値達成率は98%で、R3 から R4 で使用率も順調に上がっている。更なる取組みの強化として、JA との協議を予定しており、今後も順調な進捗が見込まれる。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
学校給食食材調達事業	継続
学校給食調理事業	継続

## 基本事業 2-2-5 地域とともにある学校づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
外部人材を活用した特別授業を実施した開催数(年間)	小学校	57 回	19 回	20 回
	中学校	14 回	14 回	15 回

### 【評価コメント】

「外部人材を活用した特別授業の開催数」は、小学校・中学校とも、目標値を達成している。今後は、外部人材の更なる効果的活用により、教職員の負担軽減にも繋げて頂きたい。

## 2-3 生涯学習・社会教育の推進

担当課：社会教育課、町立図書館

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
公民館主催教室やリーダー研修の参加者数(年間)	402人	350人	400人
町立図書館来館者数	79,440人	97,500人	100,000人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く4つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。また、本施策の成果指標「公民館主催教室やリーダー研修の参加者数」及び「町立図書館来館者数」は、コロナ禍にもかかわらず、前年度に比べ、大幅に増加している。引き続き、各基本事業の着実な継続実施により、今後も、本施策は概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 2-3-1 地域活動の充実 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合	91.0%	73.0%	75%
地域リーダー養成研修開催回数(年間)	1回	4回	5回

#### 【評価コメント】

「住みよいまちづくりのための地域活動が大切だと思う割合」は、目標を達成しており、町民の地域活動への機運は高いと言える。今後は、この機運を形にするための具体的な取組みが必要である。「地域リーダー養成研修」の目標値達成率は33%と低水準である。現在、地域リーダー養成研修には、自治公民館連絡協議会研修が位置付けられているが、今後は、自治公民館連絡協議会研修以外での地域リーダー養成研修の開催も検討する必要がある。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
中央公民館費	改善・縮小

## 基本事業 2-3-2 学習機会や学習内容の充実

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
公民館主催教室開催数(年間)	8 教室	7 教室	8 教室
公民館主催教室参加者数(年間)	372 人	180 人	180 人
各地区公民館だよりの発行回数(年間)	14 回	28 回	34 回
自主教室開催数(年間)	61 教室	37 教室	38 教室

### 【評価コメント】

「公民館主催教室開催数」、「公民館主催教室参加者数」、「自主教室開催数」の3指標は、いずれも各年度目標値を大きく超え、R7 最終目標値を達成している。今後は、公民館主催教室の更なる内容の充実に取り組んで頂きたい。「各地区公民館だよりの発行回数」の目標値達成率は77%である。再度、各年度の目標値を課内で確認し、地区毎の発行回数等を含め年間計画を立てるなど、計画的に周知に取り組む必要がある。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
社会教育総務費	継続
地域社会デジタル化事業	継続

## 基本事業 2-3-3 地域における子どもの健全育成

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地区公民館放課後子ども教室開設数(累計)	4 箇所	4 箇所	5 箇所
体験活動教室などの開催数(年間)	46 回	58 回	60 回

### 【評価コメント】

「地区公民館放課後子ども教室開設数」については、目標を達成しており、大神地区では平日の放課後に開設していないため、R4実績値から除外している。日出町全地区での開設に向けて順調に進捗している。「体験活動教室などの開催数」の目標値達成率は87%であるが、R3 から R4 で開催数が14回増え、取組みの強化がわかる。今後も、子どもと保護者のニーズに沿った多様な学びの場として、体験活動教室の充実に引き続き取り組んで頂きたい。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
学びの未来創造事業(R5 から「学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業」)	継続
子ども会育成会連絡協議会支援事業(R5 から「子ども会育成事業」)	継続

ジュニア・リーダースクラブ支援事業(R5 から「子ども会育成事業」)	継続
------------------------------------	----

#### 基本事業 2-3-4 読書のまちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町立図書館蔵書貸出数(年間)	114,778 冊	127,500 冊	130,000 冊
町立図書館内行事参加者数(年間)	5,673 人	1,350 人	1,600 人
子ども司書認定者数(累計)	19 人	40 人	40 人

#### 【評価コメント】

「図書館蔵書貸出数」の目標値達成率は93%で、毎年の新書購入に予算制限がある中、上昇傾向にあり、概ね順調と言える。「図書館内行事参加者数」は、R7 最終目標値の350%以上の高水準で達成しており、施策の成果指標「図書館来館者数」を増やすための取組みとなっている。引き続き取組みを継続して頂きたい。「子ども司書認定者数」の目標値達成率は79%であり、今後は、図書館司書や学校図書司書と十分連携し、募集広報の工夫など取組み強化に努めて頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
図書館運営事業	継続

## 2-4 芸術・文化・スポーツの推進

担当課:社会教育課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
文化協会会員数	574 人	800 人	810 人
週1回以上スポーツをした人の割合	37.7%	54.2%	56.0%
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	11,179 人	13,750 人	14,000 人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く4つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。一方で、本施策の成果指標「文化協会会員数」、「週1回以上スポーツをした人の割合」及び「文化財施設年間来館者数」は、コロナ禍の影響により、いずれもその進捗が遅れていることは否めない。新型コロナウイルス感染症まん延以前の産業文化まつりの文化部門の隆盛を再生するために、文化団体等への活動支援を強化する必要がある。また、週1回以上スポーツをした人の割合を向上させるために、新たな生涯スポーツ事業の構築も含め、本施策に紐付く基本事業を着実に実施していく必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 2-4-1 文化・芸術の振興と活用

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
産業文化まつり参加団体数(文化部門)	55 団体	86 団体	87 団体
文化協会会員数	574 人	800 人	810 人
伝統芸能・文化の継承者数(辻間楽・津嶋神楽)	18 人	24 人	25 人

#### 【評価コメント】

「産業文化まつり参加団体数」の目標値達成率は65%と低水準である。まずは、コロナ禍以前の水準に早期に戻す取組みが必要である。「文化協会会員数」の目標値達成率は73%、「伝統芸能・文化の継承者数」の目標値達成率は85%であり、上昇傾向にあるとは言えない。R7年度に日出町で開催される「おおいた教育の日」を最大限に活用し、目標達成に向け、文化・芸術振興の取組みを強化する必要がある。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
芸術文化振興事業	継続

**基本事業 2-4-2 歴史文化遺産を活かしたまちづくり**

**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
歴史資料館での特集展開催回数(年間)	3回	3回	3回
歴史・文化財に係る年間広報活動(広報特集・HP コラムの計)	20件	20件	20件
文化財施設年間来館者数【歴史資料館(帆足萬里 記念館)・鬼門櫓・致道館の計】	11,179人	13,750人	14,000人

**【評価コメント】**

「歴史資料館での特集展開催回数」及び「歴史・文化財に係る年間広報活動」は、目標値を達成し、R7 最終目標値の水準にあり、順調である。「文化財施設年間来館者数」の目標値達成率は84%と目標達成できていないが、R3からR4で目標値達成率を10ポイント以上上昇させた。R5も歴史資料館にて日出小学校創立150年、瀧廉太郎没後120年の記念特集展等の開催を予定しており、計画的に目標達成に向けて取組まれている。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
歴史先哲資料保護費	継続
地域伝統芸能保存継承事業	廃止

**基本事業 2-4-3 生涯スポーツの振興** **優先**

**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
スポーツに係る周知啓発回数(年間)	2回	3回	4回
総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数	315人	230人	280人
スポーツ少年団への加入率(小学生)	18.5%	23.0%	24.0%

**【評価コメント】**

「スポーツに係る周知啓発回数」及び「総合型スポーツクラブひまわりのたねの会員数」については、目標を達成しており、順調である。が、「スポーツに係る周知啓発」は、R3からR4で回数が減っているため、各年度の目標値を課内で再確認し、年間計画を立てる等、計画的にR7最終目標値達成に向けて取組んで頂きたい。「スポーツ少

年団への加入率」の目標値達成率は、87%で R3 から横ばい状態である。少子化等、既存課題がある中、目標達成に向けて、周知啓発も含め、具体的に取組みを強化する必要がある。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
総合型地域スポーツクラブ自立支援事業	改善・縮小
総合型地域スポーツクラブマネージャー設置事業	改善・縮小
体育振興費補助金事業	継続

**基本事業 2-4-4 競技スポーツの振興**

**【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)**

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
大分県民体育大会で入賞(1～3位)した競技種目数	25 競技	22 競技	23 競技
スポーツ指導者研修会の参加者数(年間)	42 人	63 人	70 人

**【評価コメント】**

「大分県民体育大会で入賞した競技種目数」は、R7 最終目標値達成の水準にあり、順調である。「スポーツ指導者研修会の参加者数」の目標値達成率は84%であり、R3 から減少傾向にある。今後は、スポーツ指導者研修会の参加対象者範囲を、スポーツ少年団の指導者だけに限定せず、日出町スポーツ協会加盟団体の指導者まで拡大し、目標達成を図るとともに、競技スポーツの振興に取り組んで頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
スポーツ協会補助金事業	継続



### 3-1 防災・減災対策の推進

担当課:総務課

#### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
備蓄物資確保数	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分
災害時応援協定等締結団体数	34 団体	34 団体	37 団体

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く3つの基本事業の総合的な進捗状況は順調である。また、本施策の成果指標「備蓄物資確保数」及び「災害時応援協定等締結団体数」は、いずれも年度目標値を達成している。本施策は、今後も順調な進捗が見込まれる。

#### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 3-1-1 避難所・備蓄物資等の充実

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
指定避難所の耐震化率	100%	100%	100%
備蓄物資確保数(想定避難者数分)	1,800 人分	1,800 人分	1,800 人分

#### 【評価コメント】

「指定避難所の耐震化」は、全施設で完了している。「備蓄物資確保数」も目標値の1,800人分の確保ができていいる。また、冷風機の導入など避難所の環境整理も進められており、また、備蓄物資も副食も新たに備蓄されており、計画的なローリングストックが実施されていることは評価に値する。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
安心・安全まちづくり事業	継続

基本事業 3-1-2 防災訓練等の普及促進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町補助金を活用した自治区数	3 地区	9 地区	10 地区
町独自の防災・避難情報発信ツール	3 本	3 本	4 本
防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数	4 団体	8 団体	9 団体

【評価コメント】

「町独自の防災・避難情報発信ツール」の導入、運用については、目標値を達成している。「町補助金を活用した自治区数」と「防災士会による防災まち歩き・防災講話を活用した団体数」は、目標値達成率が37%、57%と利用が低調である。今後、区長会で事業説明を実施するなど、積極的な事業周知の取組みが必要である。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災関連事業	継続

基本事業 3-1-3 災害対応・体制の構築・整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
災害時対応方策の見直し	適宜見直し (原則毎年度)	適宜見直し (原則毎年度)	適宜見直し (原則毎年度)
災害時応援協定等締結団体数	32 団体	36 団体	37 団体
主な団体	医療	0 団体	1 団体
	避難収容	14 団体	15 団体
	物資調達供給	15 団体	15 団体
	応急復旧	3 団体	6 団体

【評価コメント】

「災害時対応方策(地域防災計画)」は、適宜見直し(R4 実施)されている。「災害時応援協定等締結団体数」は、目標値を達成している。災害時応援協定等締結団体については、単に R7 最終目標値達成のためのみならず、災害時を想定し、新たな業種(産廃業者)との締結を模索していることは評価に値する。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防災施設整備事業	継続

## 3-2 安全な暮らしの推進

担当課:総務課、政策企画課、都市建設課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数	20 件(5 件↓)	前年比減	前年比減
交通(人身)事故発生件数	57 件	45 件	43 件

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く4つの基本事業のうち、基本事業3「交通安全施設等の整備」が若干遅れているものの、令和5年度における取組みは順調に進捗しており、総合的な進捗状況は概ね順調である。また、本施策の成果指標「刑法犯認知件数」は前年度より減少しているが、一方で、成果指標「交通(人身)事故発生件数」が前年度より増加しており、今後、交通安全の更なる普及啓発が求められる。本施策は、今後も概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 3-2-1 防犯対策の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
刑法犯認知件数(年間)	20 件(5 件↓)	前年比減	前年比減
自主防犯組織(防犯パトロール隊)数	11 団体	12 団体	13 団体

#### 【評価コメント】

「刑法犯認知件数」は、R3 から R4で5件減少しており、前年比減の目標を達成している。「自主防犯組織数」も目標値まであと1団体(最終目標値まであと2団体)となっている。今後は、現在ある自主防犯組織の存続を図るとともに、区長会や防災士会と充分連携し、自主防犯組織の新規設立の取組み強化する必要がある。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
防犯対策事業(総務課)	継続

### 基本事業 3-2-2 交通安全活動の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
免許返納支援事業利用者数(年間)	117人	134人	139人
高齢者体験型交通安全教室参加者数(年間)	20人	115人	118人
街頭指導回数及び広報活動回数(年間)	77回	77回	81回

#### 【評価コメント】

「街頭指導回数及び広報活動回数」は、目標値を達成しているが、R3 から R4 で回数が減っている。各年度の目標値を確認し、計画的に取り組んで頂きたい。「免許返納支援事業利用者数」は、目標値達成率94%と高水準である。今後は、高齢者のご家族に対する制度周知・広報など新たな取組みを検討して頂きたい。「高齢者体験型交通安全教室参加数」は、目標値達成率20%未満と低水準なので、参加者増加のための広報活動の強化が急務である。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
交通安全対策事業(総務課)	継続

### 基本事業 3-2-3 交通安全施設等の整備

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
危険箇所に対する安全対策実施割合(累計)	56.0%	95.0%	100%

#### 【評価コメント】

「危険箇所に対する安全対策実施割合」の目標値達成率は65%である。毎年度、限られた予算の範囲内で、緊急性に応じて、迅速かつ適切に対策を講じているが、R4は各区長からの要望が多く、結果として、達成率が R3 から R4 で 25 ポイント下落した。対応できなかった要望は次年度に繰り越して、予算の制限もあるが、引き続き、迅速かつ適切に対応して頂きたい。

### 基本事業 3-2-4 消費者保護対策の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
消費者相談に対する助言・斡旋回数(年間)	23件	33件	36件
高齢者・若年層への啓発活動回数(年間)	1回	11回	12回

**【評価コメント】**

「消費者相談に対する助言・斡旋」は、相談件数が減り、目標達成率82%となっている。「消費者相談窓口」の開設を積極的に周知広報する必要がある。「高齢者・若年層への啓発活動」は、目標達成率が11%と低水準である。啓発活動の各年度の目標値を再確認し、出前講座のみならず、広報による啓発活動も含め、計画的に取り組むことが必要である。また、今後は、防犯担当課(総務課)との充分連携し、より効果的な取組みを実施して頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
消費者行政費(政策企画課)	継続

### 3-3 消防・救急体制の充実

担当課:総務課

#### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
火災発生件数	9 件	1 件	0 件
消防団組織率	84.6%	88.1%	90.4%

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の進捗状況は、いずれも概ね順調である。また、本施策の成果指標「火災発生件数」のうち、人家火災は1件のみであり、火災予防の普及啓発の成果が見られる。一方、もう1つの成果指標「消防団組織率」は、現状、高い組織率を保っているものの、若干の減少傾向にあると言える。今後は、「消防団組織率」の低下抑制に努める必要があるものの、本施策は、今後も概ね順調な進捗が見込まれる。

#### ■基本事業・事務事業の評価

##### 基本事業 3-3-1 火災予防の推進

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
火災発生件数	9 件	1 件	0 件
延焼発生件数	0 件	0 件	0 件

#### 【評価コメント】

「火災発生件数」は9件と目標達成率22%と低水準であるが、9件の火災のうち人家火災は1件のみであり、火災予防の推進の取組みは着実に進んでいると言える。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防団運営事業	継続

基本事業 3-3-2 地域消防力の充実・強化 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
消防団員組織率	84.6%	88.1%	90.4%
消防学校課程修了団員数(年間)※操法課程除く	0人	2人	3人
更新計画年数(20年)を経過した積載車台数 (削減目標)	0台	0台	0台
更新計画年数(20年)を経過した小型動力ポン プ台数(削減目標)	0台	0台	0台

【評価コメント】

「更新計画年数を経過した積載車及び小型動力ポンプ」は、R3 から R7 までの期間内での更新対象はない。「消防団員組織率」は、目標値達成率が90%を超えているが、R3 から R4 で減少傾向である。今後は、退団率を抑制する取組みと新規団員を獲得する取組みの強化が必要である。「消防学校課程修了団員数」の R4 実績値は0人である。今後、消防学校とスケジュール等を調整し、出来る限り通い易い条件を整えることで、目標達成に向けて取組んで頂きたい。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
消防施設整備事業	継続

## 4-1 商工業の振興

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町内事業所数	1,138 件	1,186 件	1,200 社

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の総合的な進捗状況は概ね順調であるものの、コロナ禍の影響により企業訪問及び創業支援の進捗状況が低迷していることは否めない。今後は、本施策の成果指標に設定されている町内事業所への支援等の強化のみならず、企業訪問及び創業支援への取組み強化が計画されており、本施策の着実な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-1-1 中小企業の支援 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	35 件	96 件	120 件
広報紙による制度周知(累計)	22 件	8 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(年間)	3,497 件	7,500 件	10,000 件
ふるさと納税返礼品数(累計)	536 品	500 品	500 品
ふるさと納税額(年間)	8.63 億円	9.5 億円	10 億円

#### 【評価コメント】

「広報紙による制度周知」、「町 HP アクセル数」、「ふるさと納税返礼品数及び納税額」の4指標については、いずれも目標を達成しており、今後も順調な進捗が見込まれる。「企業訪問件数(累積)」の目標値達成率は72%で、目標達成には至っていないが、R3 から R4 で訪問件数が27件増加しており、取組みの強化がわかる。総合計画において、企業訪問の目的として、中小企業の支援と企業誘致の推進のみならず、高齢者福祉の充実(生きがいづくりの推進)もあるため、

今後、介護福祉課とも連携して、取組みを進めて頂きたい。



【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
商工団体振興対策事業	継続

基本事業 4-1-2 創業の支援と推進 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
創業スクール等参加者数(累計)	74 人	235 人	300 人
商店街の空き店舗等所有者への意向調査	1 回	—	全数把握
商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催回数(累計)	0 回	3 回	5 回
空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数(年間)	17 件	8 件	10 件
創業者件数(累計)	12 件	47 件	60 件

【評価コメント】

「商店街の空き店舗等所有者への意向調査」、「空き店舗等を活用したトライアルスペースの利用事業者数」の2指標は、いずれも目標値を達成している。「創業スクール等参加者数」、「創業者件数」の目標値達成率は、67%、54%といずれも低水準である。今後、創業スクール等を商店街活性化(空き店舗の解消)と創業者件数の増加に繋げるよう取組む必要がある。「商店街の活性化に向けたワークショップ等の開催累計回数」は0件であるが、R4 実施の意向調査の活分析後、中心商店街で創業した方を対象としたワークショップ等の開催を計画しており、計画的な取組みが見込まれる。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
創業支援事業	継続
店舗対策事業	継続

## 4-2 農林業の振興

担当課:農林水産課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
園芸の産出額	7.7 億円	7.3 億円	7.7 億円
畜産の産出額	3.5 億円	3.9 億円	4.1 億円
集落が取り組む共同活動件数	15 件	28 件	31 件

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく4つの基本事業の総合的な進捗状況は順調である。また、本施策の成果指標「園芸の産出額」及び「畜産の産出額」は、いずれも年度目標値を達成している。今後も、各基本事業の着実かつ継続実施により、本施策は順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 4-2-1 地域農業を支える人づくり

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
認定農業者新規認定件数(累計)	7 件	8 件	10 件
サポートチームによる新規就農者への営農支援(累計)	12 回	16 回	20 回
法人化を志向する農業者への相談支援(累計)	3 件	4 件	5 件

#### 【評価コメント】

「認定農業者新規認定件数」、「サポートチームによる新規就農者への営農支援」、「法人化を志向する農業者への相談支援」の全ての指標において、目標を達成しており、前倒しで進捗している。ファーマーズスクール受講生に対する継続的支援等、今後も計画的な取組みが見込まれる。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
大分県親元就農給付金事業	継続
肥育・繁殖牛生産性向上対策事業	改善・縮小
新規就農者負担軽減対策事業	廃止

## 基本事業 4-2-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積		6.6ha	7.0ha	7.0ha
家畜飼養頭数	和牛	301頭	240頭	270頭
	乳牛	268頭	355頭	370頭
	養鶏	380千羽	362千羽	400千羽
	養豚	5,762頭	5,797頭	6,000頭
環境保全型直接支払事業取組み件数		0件	1件	1件
ふるさと納税返礼品数(農業・畜産関連)		66品	50品	50品

### 【評価コメント】

「園芸団地づくり計画」に基づく品目の増加作付面積について、目標達成していないものの達成率は99%であり、R5に「白ネギ」を品目に追加するなど、取組み強化も見られる。「家畜飼養頭数」において、和牛、養鶏、養豚の頭数目標は概ね達成しており、順調であるが、乳牛頭数の目標値達成率は74%であり、R3からR4で減少傾向にある。早急に乳牛頭数の減少要因を分析する必要がある。「ふるさと納税返礼品数」については、R7最終目標値をR3で達成している。

## 基本事業 4-2-3 活力ある地域づくり **重** プ③

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名		R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「人・農地プラン」実質化件数		14件	15件	15件
有害鳥獣駆除数(年間)	猪	638頭	540頭	540頭
	鹿	179頭	170頭	170頭
中山間地域直接支払事業取組み集落数(累計)		7集落	7集落	7集落
多面的機能支払事業取組み団体数(累計)		8団体	8団体	9団体

### 【評価コメント】

「有害鳥獣駆除数(猪・鹿)」、「中山間地域直接支払事業取組み集落数」、「多面的機能支払事業取組み団体数」の3指標について、目標を達成している。また、「人・農地プラン実質化件数」も目標達成率90%を超えており、R5には10集落で「地域計画」の作成に取組む計画となっているため、進捗は極めて順調である。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	区分
国東半島宇佐地域世界農業遺産認定市町村支援事業	継続
農地集積・集約化事業(R2 一本化)	継続

**基本事業 4-2-4** 生産基盤の保全・整備

**【行政評価会議による評価】** **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
森林環境譲与税の有効活用による事業数	2 事業	2 事業	2 事業
防災・減災対策としての活用事業数	3 事業	6 事業	7 事業
土地基盤整備の新規取り組み地区数	1 地区	1 地区	1 地区
地籍調査実施進捗率	71.8%	78.0%	81.0%

**【評価コメント】**

「森林環境譲与税の有効活用による事業数」、「土地基盤整備の新規取組地区数」、「地籍調査実施進捗率」の3指標について、いずれも目標を達成している。「防災・減災対策としての活用事業数」の目標値達成率は75%であるが、目標値まであと1事業である。R7までに4箇所のため池を整備対象として事業計画しているため、R7最終目標値の達成に向けては概ね順調である。今後、引き続き計画的に取組みを進めて頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
有害鳥獣被害防止対策事業	継続
人・農地問題解決加速化支援事業(人・農地プラン普及・推進事業)	継続
特定家畜伝染病防疫対策事業	改善・縮小
繁殖雌牛安定生産対策事業	改善・縮小
酪農支援対策施設整備事業	改善・縮小
後継牛緊急確保特別対策事業	廃止
森林環境整備事業	継続
機構集積支援事業	継続

## 4-3 水産業の振興

担当課:農林水産課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
漁獲量	93t	166t	168t
漁獲高	0.78 億円	1.29 億円	1.32 億円
1 経営体当たりの販売金額	6.8 百万円	7.3 百万円	7.5 百万円
大神市場における正・准組合員の平均水揚高	137 万円	148 万円	150 万円

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく4つの基本事業の総合的な進捗状況は、コロナ禍の影響のみならず、原油及び物価の高騰もあり、やや遅れていることは否めない。基本事業の進捗の遅れは、本施策の成果指標「漁獲量」及び「漁獲高」に直結し、本施策の進捗状況は、やや遅れている状況にある。今後、各基本事業を着実かつ継続的に実施するのみならず、新たな事務事業の構築も含め、本施策の成果指標の目標達成に向けて、取組みを強化する必要がある。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-3-1 地産地消・消費拡大の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
魚介類消費拡大イベント参加回数(年間)	3回	5回	5回
地場産魚介類消費拡大イベント開催数(年間)	0回	4回	5回
市場情報発信回数(年間)	3回	12回	12回
ふるさと納税返礼品数(水産物・漁業関係)	32品	33品	33品

#### 【評価コメント】

「魚介類消費拡大イベント参加回数」の目標達成率が75%とR3からR4での改善が見られない。再度、目標値を組織内で再確認し、計画的に取組む必要がある。「地場産魚介類消費拡大イベント開催数」がR3同様、未開催である。R5はイベント年間計画を立てるなど、計画的に開催する必要がある。「市場情報発信回数」の目標達成率が33%と低水準であり、R3からR4で改善が見られない。魚介類消費拡大イベントと同様に、計画的に取組む必

要がある。「ふるさと納税返礼品数」は、目標を達成している。今後も漁協、まちづくり推進課と十分連携し、返礼品数を増やして頂きたい。

#### 基本事業 4-3-2 魅力あふれるものづくり

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
マコガレイ放流尾数	11,517 尾	1 万 7 千尾	2 万尾
クルマエビ放流尾数	66,299 尾	29 万尾	29 万尾
ガザミの放流尾数	65,035 尾	6 万 5 千尾	6 万 5 千尾

#### 【評価コメント】

「マコガレイ放流尾数」の目標達成率が90%を下回り、R3 よりも放流尾数が減っている。マコガレイの稚魚大型化や養殖等の研究も含めて、今後、取組みの強化が必要である。「クルマエビ放流尾数」の目標達成率は22%であるが、基準年度から比べ、クルマエビ稚魚の単価が高騰しているため、予算の範囲内での放流となっており、目標達成は極めて厳しいものの、今後も一定水準を保ちながら、工夫した放流に取り組んで頂きたい。「ガザミ放流尾数」は、目標を達成しており、順調である。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
広域型増殖場中間育成事業	改善・縮小

#### 基本事業 4-3-3 担い手の育成確保

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
新規就業者数及び漁業後継者数(年間)	0 人	4 人	5 人
漁業 PR 活動回数(年間)	2 回	4 回	5 回

#### 【評価コメント】

「新規就業者数及び漁業後継者数」について、R3、R4といずれも0人である。今後も、まちづくり推進課と連携し、学生等に対して漁業就労 PR を行ったり、漁業就業希望者に対して各種制度の周知を行ったり、引き続き、新規就業者及び漁業後継者の確保に向けて、着実に取り組んで頂きたい。「漁業PR活動回数」は、学生等への漁業 PR 等の実施により目標を達成している。

#### 基本事業 4-3-4 漁港施設の維持管理

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
漁港等老朽化対策対象施設数	2 施設	1 施設	0 施設
藻場の新規保全箇所数	1 箇所	1 箇所	1 箇所

#### 【評価コメント】

「漁港等老朽化対策対象施設数」及び「藻場の新規保全ヶ所数」の2指標は、目標を達成しており、順調である。今後も、引き続き計画的に取り組んで頂きたい。

## 4-4 観光業の振興

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
観光消費額	64.0 億円	69.0 億円	70 億円
観光入込客数	119 万人	128.5 万人	130 万人
観光宿泊客数	12 万人	26.8 万人	27 万人

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく3つの基本事業の総合的な進捗状況は、二の丸館関連の指標に遅れはあるものの、概ね順調である。また、本施策の成果指標「観光消費額」及び「観光入込客数」は、コロナ禍にも関わらず順調に増加傾向にある。今後は、現在やや低迷している成果指標「観光宿泊客数」の増加に向けて取組みを強化し、更なる観光振興を図ることで、本施策は、今後も概ね順調に進捗していくことが見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-4-1 効果的な情報発信

【指標の達成状況】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
観光情報サイトアクセス数(年間)	250,612pv	27 万 pv	28 万 pv
観光消費(飲食・購買等)につながるコンテンツのサイト掲載数	187 ページ	145 ページ	150 ページ
観光パンフレットの設置箇所数(町内外を問わず)	94 箇所	96 箇所	100 箇所

#### 【評価コメント】

「観光消費に繋がるコンテンツのサイト掲載数」、「観光パンフ設置箇所」の2指標は、いずれも目標を達成している。「観光情報サイトアクセス数」の目標値達成率は94%と高水準であるが、R3 から R4 で横ばいである。が、今後、観光情報サイトから体験型商品などの予約ができるようにするなど、アクセス数を増加するための取組みが検討されており、順調な進捗が見込まれる。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
観光振興事業	継続



### 基本事業 4-4-2 コンテンツのブラッシュアップと造成

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
観光滞在プラン(周遊、滞在、地域連携型)の商品化数	45 プラン	35 プラン	40 プラン
団体ツアー客誘致促進数	95 件	186 件	190 件

#### 【評価コメント】

「観光滞在プランの商品化数」は、R7 の最終目標値を R4 で達成した。今後は、商品化したプランが施策の成果指標「観光消費額」等に繋がる取組みが重要である。「団体ツアー客誘致促進数」の目標値達成率は53%であるが、R3 から R4 で、件数は倍増しており、取組みの強化がわかる。団体ツアー客の誘致促進について、町の助成金の効果が高く、相当の費用対効果が見込まれるのであれば、予算確保、予算の増額について、財政課と十分協議して頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
城下かかれい祭り費	改善・縮小
ザビエルの道ウォーキング大会費	改善・縮小
地域活性化企業人(企業人材派遣制度)	継続

### 基本事業 4-4-3 組織強化と連携

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
ひじ町ツーリズム協会 会員数	169 団体	190 団体	200 団体
二の丸館販売コーナーの売上額	591 万円	685 万円	700 万円
観光拠点(二の丸館)年間来館者数	18,195 人	49,900 人	50,000 人

#### 【評価コメント】

「ひじ町ツーリズム協会会員数」の目標値達成率は99%と高いが、R3からR4で減少しており、「二の丸館販売コーナーの売上額」の目標値達成率も89%と決して低くはないが、R3 から R4 で減少している。また、「観光拠点(二の丸館)年間来館者数」の目標値達成率は36%と低水準であり、現状のままでは、観光拠点としての役割を果たしているとは言えない。今後、ひじ町ツーリズム協会と連携、協働して、二の丸館の活性化のための新たな取組みや現行の取組みの強化が必要である。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ひじ町ツーリズム協会補助事業	改善・縮小

## 4-5 企業誘致と雇用の創出

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
企業誘致件数(令和3~7年度の累計)	1件	12件	15件
雇用創出数(①+②)累計	24人	400人	500人
新規雇用予定者数① ※企業誘致(新設、増設)による新規雇用予定者数	+7人	—	—
新規雇用予定者数② ※半島振興法等に基づく支援による新規雇用予定者数	+6人	—	—

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の総合的な進捗状況は、コロナ禍の影響により、やや遅れていることは否めない。基本事業の進捗の遅れは、本施策の成果指標「企業誘致件数」及び「雇用創出数」の進捗状況に直結し、本施策の進捗を鈍化させている。今後は、基本事業の目標指標にも設定されている企業訪問を重点的な取組みとして強化することにより、本施策の着実な進捗が望まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 4-5-1 企業誘致の推進 **重プ③**

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
企業訪問件数(累計)	35件	96件	120件
町 HP(適地情報)アクセス数(年間)	1,842件	4,800件	6,000件
大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数(累計)	8件	48件	60件

#### 【評価コメント】

「企業訪問件数」、「町 HP アクセス数」、「大分県との連携事業を含めた県外企業訪問件数」の3指標の各々目標値達成率は、72%、76%、33%といずれも目標達成に至っていない。が、いずれも R3 から R4 で実績値が急増しており、取組みの強化がわかる。今後も、引き続き、計画的に取組んで頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
企業立地推進事業	継続

**基本事業 4-5-2 雇用の場の確保 重プ③**

**【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)**

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
企業訪問件数(再掲)	35 件	96 件	120 件
広報紙による制度周知(再掲)	22 件	8 件	10 件
町 HP(事業者支援情報)アクセス数(再掲)	3,497 件	7,500 件	10,000 件
法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数(累計)	18 件	57 件	70 件

**【評価コメント】**

「企業訪問件数」の目標値達成率は72%であるが、R3 から R4 で27件増え、取組み強化がわかる。「広報紙による制度周知」、「町 HP アクセス数」は、いずれも中小企業の支援に係る指標の再掲であるが、いずれも目標を達成しており、順調である。「法令に基づく中小企業支援を受けた事業者数」の目標値達成率は56%と低水準であるため、今後は、中小企業に向けた制度周知と中小企業の情報収集(事業拡大、工場の新增設、設備導入等)の取組みを強化する必要がある。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
日出町シルバー人材センター支援事業	継続

## 5-1 生活・自然環境の保全

担当課:住民生活課等

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
自然が保全されていると考える町民の割合	83.7%	82.0%	85.0%
町民1人あたりの1日あたり家庭ごみ排出量	803g	550g	518g

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く3つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。また、本施策の成果指標「自然が保全されていると考える町民の割合」は、83%を超え、上昇傾向にあり、もう1つの成果指標「町民1人あたりの1日あたり家庭ごみ排出量」は、減少傾向にある。引き続き、基本事業を着実に取組むことにより、本施策は、今後も概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-1-1 環境保全対策の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
公共用水域の環境基準(BOD・COD)達成率	100.0%	100%	100%
生活排水処理率	81.2%	85.0%	86.1%
SDGs ネットワーク登録者数(累計)	30人	40人	50人
町施設の電気使用量と電気使用料金(年間) (削減目標)	2,742,524kw 52,032円	2,600,000kw 54,427千円	2,600,000kw 54,427千円

#### 【評価コメント】

「公共用水域の環境基準達成率」、「生活排水処理率」、「町施設の電気使用料金」、「SDGs ネットワーク登録者数」のすべての指標について、いずれも目標を達成している。合併処理浄化槽設置整備事業は、2つの指標の成果に直結する事業であるため、引き続き着実に取組んで頂きたい。SDGsについては、体験型エコワークショップ等を開催するなど、町民、事業所、行政が一体となり、循環型社会の形成に向けて、引き続き取組んで頂きたい。

## 基本事業 5-1-2 ごみの減量とリサイクルの推進

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
資源化(リサイクル)率	7.6%	9.5%	10.0%
搬入ごみ展開検査実施回数(年間)	1回	3回	3回
広報等による啓発回数(年間)	1回	6回	6回

### 【評価コメント】

「資源化率」の目標値達成率は89%である。デポジット(各店で使えるポイント)容器回収箱の設置等、町内店舗と協議を進めて頂きたい。「搬入ごみ展開検査実施回数」の目標値達成率は50%である。再度、課内で各年度の目標値を共有し、年間計画を立てるなど計画的に取り組む必要がある。また、「広報等による啓発回数」の目標値達成率は20%であり、R3、R4 と年1回しか実施していないことは問題である。町報や町 HP、町公式 SNS 等、様々な媒体を活用し、年間計画を立てるなど計画的にごみの減量とリサイクルの推進の周知啓発に取り組むべきである。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
ごみ減量化推進事業	継続

## 基本事業 5-1-3 生活衛生の推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
生活衛生(ペット、野焼、騒音、悪臭等)に関する年間苦情件数(削減目標)	144件	53件	50件
狂犬病予防注射率	56.1%	57.0%	58.0%

### 【評価コメント】

「生活衛生に関する年間苦情件数」の目標値達成率は41%で、R3 から R4 で50件増えている。苦情の大半が雑草の繁茂と隣地への越境であり、苦情を減らす具体的な取組みは容易ではないが、定期的な草木の管理など指導啓発を着実に取組んで頂きたい。「狂犬病予防注射率」は、目標を達成しており、順調である。引き続き接種勧奨に取り組んで頂きたい。

### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
一般廃棄物処理対策事業	改善・縮小

## 5-2 良質な水道水の安定供給

担当課:上下水道課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
上水道有収率	75.9%	82.0%	83.00%

#### 【評価コメント】

本施策に紐づく2つの基本事業の総合的な進捗状況は、概ね順調である。また、本施策の成果指標「上水道有収率」も75%を超えており、概ね順調である。老朽管の更新等計画的に事業実施されており、今後も、本施策は概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-2-1 安全な水の安定提供 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
給水原価	109 円	106 円	106 円
老朽管の更新率	1.06%	1.20%	1.30%

#### 【評価コメント】

「給水原価」は、目標達成率97%の高水準であり、R3 から R4 で給水原価を着実に下げている。今後も委託内容の見直し等経費の抑制や有収水量の増加等の取組みを継続して頂きたい。「老朽管の更新率」の目標値達成率は88%であるが、緊急事態(自然郷区の漏水)の対応による計画変更がありながらも、R3からR4で達成率6.5 ポイント上昇しており、緊急時も含め、適切かつ計画的に整備が進められていると評価に値する。

基本事業 5-2-2 水道施設の強靱化

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
耐震化実施施設数(累計)	4 施設	8 施設	8 施設

**【評価コメント】**

「耐震化実施施設数」は、目標達成率60%未満である。門前・小園配水池の機械電気設備整備や南端地区と自然郷地区の老朽管からの漏水対応等により R4 の耐震化工事が延期されたが、R7までの耐震化工事の計画としては、明確なスケジュール管理が出来ている。想定外の事態が起きない限りは、R7 最終目標値を達成する見込みと言える。

## 5-3 汚水処理の推進

担当課:上下水道課等

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
水洗化率	72.2%	75.5%	72.9%
水洗化人口	20,257人	20,949人	20,100人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の総合的な進捗状況は、順調である。また、本施策の成果指標「水洗化率」及び「水洗化人口」も年間目標値をほぼ達成している。合併処理浄化槽の設置の推進も含め、生活排水処理率の向上等、着実かつ継続的に取り組んでいくことにより、今後も、本施策は概ね順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 5-3-1 生活排水処理施設の整備

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
生活排水処理率	80.1%	84.5%	86.1%
下水道接続率	83.6%	83.0%	83.3%

#### 【評価コメント】

「生活排水処理率」は、目標達成率が98%であり、着実に取り組みが進んでいる。「下水道接続率」は、R7 最終目標値を達成した。今後は、住民生活課(合併処理浄化槽設置整備事業主管課)と充分連携し、下水道整備済区域における未接続者に対する取り組みを進めて頂きたい。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
合併処理浄化槽設置整備事業(住民生活課)	継続



基本事業 5-3-2 健全な下水道経営の推進 優先

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
経費回収率(公共・漁集・農集事業の計)	94.2%	111.0%	100%
汚水処理原価(公共・漁集・農集事業の計)	156.96 円/㎡	151.01 円/㎡	150.3 円/㎡

【評価コメント】

「経費回収率」及び「汚水処理原価」の目標値達成率は、いずれも90%以上である。人件費削減や上水道と下水道の委託業者統合など取組み強化の成果が確実に指標の成果に繋がっている。下水道経営の安定化を目的として、料金改定の検討も進んでいるが、現在の社会情勢を考慮し、経費の削減に引き続き取組んで頂きたい。

## 5-4 快適な都市機能の充実と景観まちづくりの推進

担当課:都市建設課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う町民の割合	56.7%	68.1%	70.0%
土地政策・道路整備等の誘導施策に伴い新築された住宅数(R3～7年度累計)	73戸	80戸	100戸

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く5つの基本事業の総合的な進捗状況は順調である。本施策の成果指標「住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う町民の割合」は、前年度に比べると低下しているものの、もう1つの成果指標「土地政策・道路整備等の誘導施策に伴い新築された住宅数」は、目標値を達成し、順調に増加している。今後、豊岡公園の整備や日出町景観計画の策定等が予定されており、成果指標「住宅や商業施設・病院・公園などが計画的に開発・配置されていると思う町民の割合」の上昇が見込まれており、本施策は概ね順調に進捗していると言える。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-4-1 都市計画街路・町道などの整備 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
都市計画路の整備率	56.8%	友田竹光線整備計画に基づき算定	友田竹光線整備計画に基づき算定
町道改良率	66.0%	68.0%	70.0%
橋梁長寿命化整備数(累計)	12箇所	19箇所	21箇所

#### 【評価コメント】

「都市計画路の整備」については、R7までに友田竹光線が整備完了する見通しはないが、今後も着実に榎竹本線の用地買収等、準備事業を進めて頂きたい。「町道改良率」は目標を達成しており、計画どおり進捗している。「橋梁長寿命化整備数」の目標値達成率は80%ではあるが、毎年度、計画的に点検、整備しており、危険な橋梁が常にならないよう取組みがなされている。

## 基本事業 5-4-2 計画的な土地利用と市街地整備の充実 重プ②

【行政評価会議による評価】 B (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
都市計画における土地利用の誘導策となる計画の策定	未策定	策定検討	一式
まちづくりワークショップの開催(年間)	0回	1回	1回
公園の設備に満足している町民の割合	60.9%	69.0%	70.0%
糸ヶ浜海浜公園の利用者数(年間) ※宿泊客・日帰り客の合算	20,933人	46,900人	46,900人
豊岡公園の整備率	3.8% (77.9%)	9.7% (92.5%)	11.8% (100%)

### 【評価コメント】

「公園の設備に満足している町民の割合」の目標値達成率は92%であるが、R3 から R4 で満足度が下がっている。「糸ヶ浜海浜公園の利用者数」は、R3 から R4 で3千人程度増加したが、目標値達成率は44%である。おおいた地域連携プラットフォーム(R4 実施)による糸ヶ浜海浜公園エリアブランディングの成果の活用等、利用者増加に取組む必要がある。また、豊岡公園も含め、P-PFIの導入について、関係各課と協議、検討を進めて頂きたい。「まちづくりワークショップ」は、「都市計画における土地利用の誘導策となる計画(立地適正化計画)のを策定過程で開催して頂きたい。

## 基本事業 5-4-3 景観まちづくりの推進

【行政評価会議による評価】 A (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
景観計画に基づく運用協議会開催数(年間)	計画策定中	策定完了	1回

### 【評価コメント】

R5に日出町景観計画の策定、R6に日出町景観計画の施行及び景観計画に基づく運用協議会の開催の予定であり、計画どおり順調に進んでいる。

## 基本事業 5-4-4 空き家対策

【行政評価会議による評価】 A (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
老朽危険家屋の除去件数(累計)	11件	14件	15件
空き家バンク物件成約件数(H28以降の累計)	98件	115件	130件

※数値はいずれも年度末時点			
空き家の利活用促進に係る協議会の開催回数 (年間)	5回	2回	2回

**【評価コメント】**

「老朽危険家屋の除去件数」、「空き家バンク物件成約件数」、「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」の3指標は、いずれも目標を達成しており、順調である。老朽危険家屋の除去については、引き続き、年3件ずつ計画的に除去して行って頂きたい。また、空き店舗も含め、空き家については、まちづくり推進課と十分連携、協働し、利活用の促進に継続して取組んで頂きたい。

**基本事業 5-4-5 公営住宅の適正な管理**

**【行政評価会議による評価】** **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町営住宅入居率	69.0%	85.0%	92.0%
町営住宅管理戸数	287戸	250戸	230戸

**【評価コメント】**

「町営住宅管理戸数」は、目標を達成しており、順調である。「町営住宅入居率」の目標値達成率は93%で、R3 から R4 で入居率が6%下がった。要因としては、青津山住宅取壊に伴う転居先確保のために、豊岡・仁王住宅の新規入居募集を行っていないことが上げられる。今後も入居率がどの程度下がっていくのか、町営住宅管理戸数と併せて、十分把握、管理する必要がある。また、青津山住宅の取壊し後、跡地の利活用も含め、早期に関係各課等と協議、検討する必要がある。

## 5-5 公共交通の充実

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町内の公共交通に満足している町民の割合	35.7%	69.0%	70.0%
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	3,258 円	1,100 円	1,000 円

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く2つの基本事業の総合的な進捗状況は、やや遅れている。基本事業の目標指標「地域内フィーダー交通(コミュニティバス)年間利用者数」が伸び悩んでいることが、本施策の成果指標「町内の公共交通に満足している町民の割合」の低迷に繋がっていると言える。令和5年度からは、新たな地域内フィーダー交通として、デマンド交通の運行を開始する。今後は、デマンド交通の導入により、交通不便地域を解消するとともに、幹線交通(JR等)との結節点を増やし、町民の皆様に満足して頂ける町内の公共交通網の整備に向けて、順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 5-5-1 地域内交通網の充実 **重プ②**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
交通不便地域残存数	29 区	0 区	0 区
地域内フィーダー交通年間利用者数	6,163 人	45,000 人	50,000 人
コミュニティ交通利用者1人あたりの経費	3,258 円	1,100 円	1,000 円

#### 【評価コメント】

「交通不便地域残存数」、「地域内フィーダー交通の年間利用者数」、「コミュニティ交通利用者1人あたりの経費」の各々の目標値達成率は、96%、39%、84%であり、いずれも目標の達成に至っていない。が、R5から本格運用を開始するデマンド交通とデマンド交通導入に伴うコミュニティバス路線の再編によって、交通不便地域を解消するとともに、地域内フィーダー交通年間利用者が増加することで、コミュニティ交通利用者1人あたりの経費の削減が見込まれる。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
コミュニティバス運行事業	改善・縮小

基本事業 5-5-2 広域交通網の利用促進 重プ②

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町内 JR 駅平均乗車人員(JR 九州公表資料)	1,969 人	2,350 人	2,400 人
地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数	11 箇所	20 箇所	20 箇所

【評価コメント】

「町内 JR 駅平均乗車人員」については、R4JR 九州公表資料がまだ公表されていないので、R3 実績値を据え置き、目標値達成率を87%とする。「地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数」は、目標を達成している。今後は、R5 からのデマンド交通の本格運用により、コミュニティバス路線を再編し、地域内フィーダー交通と幹線交通の結節点の数を増加させることで、JR の利用者を増やすとともに、施策の成果指標「町内の公共交通に満足している町民の割合」の向上が見込まれる。

【構成される事務事業

事務事業名	行政評価会議による評価
公共交通関係振興事業	改善・縮小

## 6-1 人権を尊重する社会づくり

担当課:住民生活課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
人権が尊重されていると思う町民の割合	89.5%	87.0%	88.0%
人権に関する講演会や研修会に参加したことがある町民の割合(累計)	24.0%	35.0%	50.0%

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く3つの基本事業の総合的な進捗状況は順調である。また、本施策の成果指標「人権が尊重されていると思う町民の割合」は、89%を超え、目標値を達成しており、また、もう1つの成果指標「人権に関する講演会や研修会に参加したことがある町民の割合」も順調に上昇している。引き続き、基本事業を着実に取組むことにより、本施策は、今後も順調な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 6-1-1 生涯学習の視点に立った人権教育の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数(年間)	30回	16回	20回
町が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数(年間)	564人	1,000人	1,200人

#### 【評価コメント】

「町が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数」は、コロナ禍にも関わらず、ミニ研修等開催形式を工夫し、R7 最終目標値をも超え、目標を達成している。また、「町が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数」の目標値達成率も94%と高水準であり、参加型研修(アンプティサッカー体験)等新たな取組みが成果に直結していることは評価に値する。

**基本事業 6-1-2** あらゆる場における人権教育・啓発の推進 **優先**

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
広報紙・町ホームページでの啓発の回数(年間)	15回	28回	30回
特定の職業に従事する者への研修の開催数	9回	8回	10回

**【評価コメント】**

「広報紙・町 HP での啓発の回数」の目標値達成率は68%と低水準である。再度、課内で各年度の目標値を確認し、年間計画を立てるなど計画的に啓発活動に取り組む必要がある。「特定の職業に従事する者への研修の開催数」は、目標を達成している。が、参加対象実績が町職員と教職員となっているので、今後は、保育施設職員、消防職員、医療関係者、福祉保健関係者、児童民生委員等を対象とした研修の開催も検討して頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
人権推進差別解消啓発事業	継続

**基本事業 6-1-3** 男女共同参画社会の推進

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない町民の割合	69.3%	69.0%	70.0%
町の審議会等における女性委員の割合	23.7%	36.0%	40.0%

**【評価コメント】**

「男は仕事、女は家庭という考え方に同感しない町民の割合」は、目標を達成しており、町報、町 HP による着実な啓発活動が成果に結び付いたと言える。「町の審議会等における女性委員の割合」の目標値達成率は98%と高水準である。今後、本指標の各年度の目標値を各課に再周知するとともに、各審議会ごとの委員の男女比率を公開するなど、女性委員を増やすために、委員を選任側の意識を変える取組みも必要である。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
男女共同参画事業	継続



## 6-2 町民とともに創る持続可能なまちづくり

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **D** (遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
まちづくり協議会(推進組織)の設立件数	0 件	5 件	6 件
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	1 団体	5 団体	6 団体

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く4つの基本事業の総合的な進捗状況は、やや遅れているが、「共創のまちづくり」について必要と感じている町民の割合は91%超と高く、「共創のまちづくり」の機運は醸成されつつある。また、産官学等の連携についても、具体的な取組みが始まっている。今後は、醸成されつつある「共創のまちづくり」の機運を本施策の成果指標に結びつけていくことが求められる。本施策は現状遅れているものの、今後の進捗及び目標達成が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

基本事業 6-2-1 共創のまちづくりを進める仕組みづくり **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数(年間)	3 回	3 回	3 回
「共創のまちづくり」について必要と感じている町民の割合	91.4%	89.0%	90.0%

#### 【評価コメント】

「地域課題に向けたワークショップ、講座等の開催数」については、おおいた地域連携プラットフォームを含め、3回の開催があり、目標を達成している。「共創のまちづくりが必要と感じてる町民の割合」も91%で、R7 最終目標値を超えて、目標を達成している。今後は、高まっている「共創のまちづくり」の機運を、施策の成果指標である「まちづくり協議会の設立」、「共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数」に繋げる具体的な取組みが必要である。

#### 【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
自治区・区長会支援事業	改善・縮小

共創のまちづくり支援事業	継続
--------------	----

**基本事業 6-2-2** 町民が主体となった地域づくり組織の育成・支援 **重プ①**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
校区別まちづくり計画の策定数(累計)	0 件	5 件	6 件
まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数(累計)	1 団体	5 団体	6 団体
地域おこし協力隊・集落支援員の配置数	延べ 3 人	延べ 5 人	延べ 6 人

【評価コメント】

「校区別まちづくり計画の策定数」が0件であり、「まちづくり協議会(地域自主運営組織)及び類似組織の設立数」が1件(南端地区)であり、R2 基準年度から進捗がない。今後、南端地区での取組みを継続、強化するとともに、R4 年度に実施したおおいた地域連携プラットフォームの成果を活かし、大神地区でも取組みを検討して頂きたい。「地域おこし協力隊・集落支援員の配置数」については、目標を達成している。R5 には、中学校の部活動の地域移行を視野に入れ、学校と地域の中間支援者として、新たに協力隊員1名を社会教育課に7月から配置するなど、計画的に取り組んでいる。

【構成される事務事業】

事務事業名	行政評価会議による評価
地域おこし協力隊事業	継続

**基本事業 6-2-3** 多様な担い手による地域づくりの推進

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
高校・大学・企業等との連携事業数(年間)	2 事業	3 事業	3 事業
共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠で取組のあった団体数(年間)	1 団体	6 団体	6 団体

【評価コメント】

「高校・大学・企業等との連携事業数」は、おおいた地域連携プラットフォームを含め、2事業を実施し、目標を達成している。今後も引き続き、大学との連携等、多様な担い手による地域づくりの推進に取り組んで頂きたい。「共創のまちづくり支援事業の団体活動支援枠での取組のあった団体数」の目標値達成率は25%と低水準である。南

端地区での取組みを継続するとともに、R4 年度に実施したおおいた地域連携プラットフォームの成果を活かし、大神地区でも南端地区同様の取組みを模索し、更なる地域の活性化に取り組んで頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
エニワン・ウェルカム・タウン推進事業	改善・縮小

**基本事業 6-2-4 「公共私」連携と「公」の広域化の推進**

**【指標の達成状況】** **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
地域課題の解決のために官民が連携した取り組みの数(累計)	3 事業	5 事業	5 事業
他市町村との広域連携に基づく新たな取り組みの数(累計)	3 件	5 件	5 件

**【評価コメント】**

「他市町村との広域連携に基づく新たな取り組み」は、大分都市広域圏連携事業が順調に拡大しているため、目標値を達成している。R5 も広域図書館利用が開始され、事業メニューは増加傾向にある。「地域課題の解決のために官民が連携した取り組み」は、R4は、おおいた地域連携プラットフォームによる糸ヶ浜海浜公園エリアブランディングを支援したため、目標値を達成している。今後も大学や企業と積極的に連携・協働し、地域課題の解決に繋げて頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
大分都市広域圏連携事業	継続

## 6-3 移住・定住施策の推進

担当課:まちづくり推進課

### ■施策の評価(達成状況)

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
移住促進策による移住者数(年間)	39人	65人	70人
人口の社会増加数(年間)	129人	160人	170人

#### 【評価コメント】

本施策に紐付く3つの基本事業の総合的な進捗状況は概ね順調であるが、本施策の成果指標「移住促進策による移住者数」が減少傾向にあり、本施策の進捗状況は、やや遅れている。空き家バンク関連やふるさと寄附関連、また、町公式 SNS フォロワー(日出町のファン)の獲得については、目標値を大幅に上回る形で達成しており、本施策のストロングポイントとなっている。今後は、「しごと」の創出に関連した取組みを強化することにより、本施策の着実な進捗が見込まれる。

### ■基本事業・事務事業の評価

#### 基本事業 6-3-1 情報発信と移住支援体制の強化

【行政評価会議による評価】 **B** (概ね順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町 HP 年間閲覧数(移住・空き家バンク情報)	53,582pv	39,000pv	40,000pv
移住促進施策による年間移住者数	39人	65人	70人
空き家バンク物件登録件数(累計)	112件	135件	150件
空き家バンク成約件数(累計)	98件	115件	130件
空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数(年間)	5回	2回	2回

#### 【評価コメント】

「町 HP 年間閲覧数」、「空き家バンク物件登録件数」、「空き家バンク成約件数」、「空き家の利活用促進に係る協議会の開催件数」は、いずれも目標を達成している。今後、空き店舗も含め、空き家については、都市計画課と十分連携し、引き続き、利活用の促進に取り組んで頂きたい。「移住促進施策による年間移住者数」が R3 から減少しており、目標値の達成率も70%を下回った。今後、移住者増加のためには、情報発信の更なる強化と、ターゲット毎のニーズに合った具体的な取組みの構築が必要である。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
移住・定住促進事業	継続

**基本事業 6-3-2 「しごと」を創出し、「ひと」を誘致する**

【行政評価会議による評価】 **C** (やや遅れている)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
町内事業所数(累計)	1,138 件	1,200 件	1,200 件
雇用創出数(累計)	24 人	400 人	500 人
人口の社会増加数(年間)	129 人	160 人	170 人

**【評価コメント】**

「町内事業所数」は、基幹統計調査の数値であるため、R3 の数値を据え置き、目標値達成率を97%とする。「雇用創出数」の目標値達成率は12%と低水準であるため、今後、企業誘致及び創業支援の取組みを強化する必要がある。「人口の社会増加数」の目標値達成率は99%である。引き続き、移住支援や町公式 SNS 等を活用した町の魅力発信等により、更なる人口の社会増加に取り組んで頂きたい。

**基本事業 6-3-3 日出町のファン獲得 **重プ①****

【行政評価会議による評価】 **A** (順調)

指標名	R4 実績値	R6 目標値	R7 最終目標値
ふるさと寄附金の寄附件数(寄附金額)	31,382 件 (8.6 億円)	38,000 件 (9 億円)	40,000 件 (10 億円)
町公式 SNS フォロワー数	14,306 人	9,500 人	10,000 人

**【評価コメント】**

「ふるさと寄附金の寄附件数」は、目標を達成していないものの、R3 から R4 で寄附件数が3千件以上増え、目標値達成率も95%の高水準であることから、R5 以降目標の達成が見込まれる。また、「町公式 SNS フォロワー数」は、R7 の最終目標値を大幅に超えるフォロワー数で、目標を達成している。「町公式 SNS フォロワー数」の多少は、広報・周知・啓発活動の効果の大小に直結するものである。今後も更なるフォロワー数の増加に取り組むとともに、各課と連携し、町公式 SNS を最大限に活用して頂きたい。

**【構成される事務事業】**

事務事業名	行政評価会議による評価
ふるさと寄附金事業	継続